

ドノバン英語塾 ルール (2018年度)

気風

一般的に言って、学生時代の壮大な夢や目標を実現できる者はほとんどいない。だが継続して学問に勤しみ、優秀な成績を収める者は、将来の自分に数多くの選択肢と可能性を残すことができる。

ドノバン英語塾は進取の気性に富んだ知的エリートを養成し、彼らの夢や目標の実現に寄与することを目指す。

マナー

- ✓ 欠席または 15分以上遅刻する場合は、生徒本人（または保護者）が早い段階で講師の携帯電話に連絡を入れること。
- ✓ 授業中におけるスマートフォンの使用は厳禁。スマホの使用は集中力を乱すだけでなく、周囲の士気を損なうからだ。ただし保護者との連絡は可。
- ✓ 模擬試験や英語資格・検定試験の結果は、受け取り次第、講師に見せること。それらの結果を講師と共に分析し、弱点克服・得点上昇につなげるためだ。
- ✓ 休塾・退塾を希望する者は、必ず前月の 10日までに講師に伝えること。

ドノバン英語塾 ルール (2018 年度)

心がけ

A. 「結果」が全て

大学入試では「自分なりに頑張った、努力した」ということは全く評価されない。
「数字」だけが評価の対象であることに留意せよ。

B. 才能とは続けられること

「才能とは、一瞬のひらめきやきらめきではなく、情熱や努力を継続できる力だ」

— 羽生善治 竜王

C. 高き目標を持つ

ドノバン英語塾は到達目標が高い。
校内で争うなんて論外、全国模試でトップの成績を修めるのは当然。
目指すべくは世界で通用する英語力だ！

D. 先行逃げ切りを狙え

大学受験において、高3から本気で勉強し始めても間に合わない。翻って、高1・高2の段階で既にA判定をとってれば、そのままの勢いで必ず合格する。学習能率が低い生徒であっても、決して最難関大や医学部を諦めてはならない。中学生の頃から大学受験に向けた勉強を行えば、最終的に合格することは可能だ。

E. 浪人という選択肢はない

最難関大学や医学部を目指す者は浪人する可能性が高い。だが1年間遠回りする勇気とエネルギーがあるならば、全もって一生懸命勉強すべきだ。高校時代に努力できない者が、浪人して努力できるはずがない。

ドノバン英語塾 ルール (2018年度)

学習

a. 授業後の復習は不可欠

授業直後は記憶が鮮明なので、復習に多くの時間とエネルギーを投じよう。そうすることで知識を定着させることができる。また各種問題演習を通じて既習の項目を忘れていたことが判明した場合は、直ちに該当プリントを確認し、知識を再構築しよう。そういった can-do attitude により、難問にも対応できる、揺るぎない英語力を身につけることが可能だ。

b. 授業中はノートテイキングを怠るな

ドノバン英語塾では板書はほとんどしない。なぜなら漫然と板書を写すような怠け者は大成しえないからだ。講師から口頭で伝えられることを、自らノートに要点整理しよう。そうすることで英語力が向上するだけでなく、論理的思考力が飛躍的にアップする。

c. 解答の際、「根拠」を持って

どの科目においてもいえることだが、得点が安定しない者は「勘」で解いている。なんとなく解くことから脱却し、「習得した知識・理論」に基づいて解くようになれば常に高得点をとれる。

d. 得点に直結する勉強をせよ

どの科目においても「基礎」が得点の大部分を占めるので、「基礎」を重点的に勉強すれば確実に高得点がとれる。効率の良い勉強を行えば、他科目にたっぷり時間を残すことができる！

e. 精力的に英語に接すべし

インターネットの普及に伴い、以前よりも英語に接することが容易になった。様々なウェブサイト (Youtube 等の動画共有サイトから CNN などの各種ニュースサイトまで) を利用して、楽しみながら英語に接しよう。たくさん英語に触れることで、英文を読み書きするうえでの勘が養われる。

ドノバン英語塾 ルール (2018年度)

| 2018年塾休 | |
|---------|----------------------|
| 1月 | 1日(月)・2日(火)・3日(水) |
| 2月 | なし |
| 3月 | 29日(木)・30日(金)・31日(土) |
| 4月 | 29日(日)・30日(月) |
| 5月 | 1日(火)・2日(水)・3日(木) |
| 6月 | 29日(金)・30日(土) |
| 7月 | 8日(日)・9日(月)・10日(火) |
| 8月 | 15日(水)・16日(木)・17日(金) |
| 9月 | 22日(土)・23日(日) |
| 10月 | 15日(月)・16日(火)・17日(水) |
| 11月 | 22日(木)・23日(金) |
| 12月 | 29日(土)・30日(日)・31日(月) |